

めぐみ 令和7年 春号

発行元 社会福祉法人清光会 障がい福祉サービス事業 恵誠の里

〒598-0024 大阪府泉佐野市上之郷2007番地の1

発行者 施設長 樋口力

Tel 072(467)1181 Fax 072(467)2281

HP <http://s-seikokukai.or.jp/keiseinosato>

E-mail keiseinosato@nifty.com



清光会PR・CM動画



地球環境との関わり

春陽の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
昨年度も、清光会理念のもと安全・安心・信頼を基本に、組織としての総合力を高めながらご利用者支援に努め、新しい春を迎える事が出来ました。多くのご利用者、ご家族、関係者の方々のお力添えにより、今日に至ることが出来ましたことを感謝しております。

近年の異常気象については、はっきりと解明されていませんが、偏西風の蛇行の原因について、局地的な海水温の上昇や地球温暖化の影響などが想定されているようです。

蛇行する事で袋状になってしまう部分があり、今年2月に寒波が長引いたのは、ここに北極から流れ込んできた寒波がはまり込んでしまったからだそうです。この袋状は、昨夏に猛暑日、酷暑日が多かった原因の一つとも言われています。

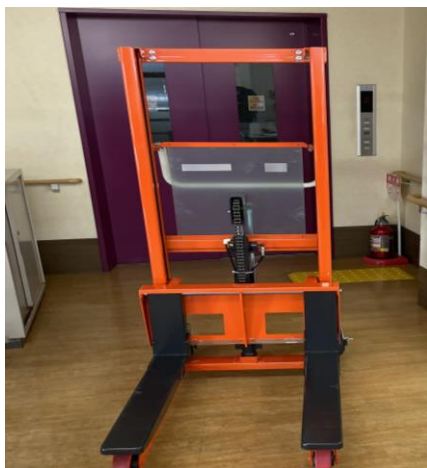
温暖化によって海面水温が上昇することで水蒸気量が増え、気温が上昇すると大気に取り込む水蒸気量が増えてしまいます。温暖化によって増えた水蒸気は、大雨や大雪をもたらす原因と言われています。このような状況になると、野菜や果物が不作、魚の不漁となっていますが、農家や漁師の方々はこの手この手で対策をして克服し、この状況化を乗り越えています。

また、障がい者の方々もいつも同じ状態ではありません。地球温暖化の影響があるかもしれません。今後も個々の状態を見極め、それぞれに合ったより質の高い支援が出来る事業所にしていきたいと思います。

支援課 課長 谷口勉

ボルト作業で使用するリフターを新しく購入しました。
これからも、皆で力を合わせて作業に取り組みたいです。

支援員 藤原幹久





創作活動節分飾い♪



今回は「節分」をテーマに創作活動を行いました。全て手作りの為、作成中は苦戦される方もいましたが、その分出来た時の喜びは大きい様子でした。ご自宅に持って帰られる時にも嬉しそうな表情で支援員に「これ見て」と笑顔で声掛けをして、支援員一同もうれしい気持ちにさせて頂きました。

支援員 角谷真吾



神社へ参拝





恵誠の里駐車場

恵誠の里の隣に新しく駐車場が出来ました。今後は駐車場としての活用だけではなく、園芸活動や余暇活動等で使用する事を検討しており、ご利用者様が楽しんで頂ける様に活用していきたいと思います。

支援員 字室克哉

園芸活動



園芸活動ではチンゲン菜やレタス、スナップエンドウ等に挑戦しました。夏場と違い、冬野菜の成長は緩慢で、ご利用者にはもどかしい思いをさせてしまったかもしれませんが、2月に入ると一気に成長し、収穫ができたことで、日々の手入れが実を結んだことを体感してもらうことが出来ました。

恵誠の里の隣に新しい畑ができたことにより、ご利用者から本格的な活動が出来るかと期待の声が聞かれます。まずはジャガイモの栽培から始め、今後に繋げていきたいと思っています。

支援員 山野剛史

知的障害者の性や恋愛・結婚等についてのシンポジウム

～自身が望む生き方の実現のために～参加報告

恵誠の里 支援課 福永康彦

知的障害者の性や恋愛・結婚等についてのシンポジウムに参加しました。

開催の挨拶では、厚生労働省の代表者から挨拶がありました。挨拶では、シンポジウムが開催された経緯について説明がありました。北海道江差町の社会福祉法人「あすなろ福祉会」での不妊処置問題や昨年の旧優生保護法は憲法違反、国に賠償命じる最高裁の判決によって、知的障害者の性や結婚等についての権利の理解が不十分ではないかという経緯でシンポジウムを開催するに至ったとのお話がありました。あすなろ福祉会と旧優生保護法の憲法違反のニュースについては、テレビ番組等で個人的に知っていたので、経緯としてすぐに理解できました。

現状について、PWC コンサルティング合同会社からの事業所調査結果報告から、性教育に関する支援の課題について報告があり、「性教育を行う機会や人的リソースが不足している」が最多の70.5%だった。このことから、性教育を行う機会や人的リソースが不足している、性支援に関する職員教育の機会が無い、利用者の状況に応じた性教育を行う方法がわからないといった理由が挙げられます。自分自身も恵誠の里にて性教育を担当していますが、担当する職員の教育の機会がない点については以前から感じており、また今後の支援の方向性についてどうしていけば良いのか迷う部分がありました。

基調講演では、京都教育大学総合教育臨床センターの門下氏の講演を聞き、ソーシャルワーカーは、セクシュアリティに対する自分の態度や価値観を理解し、自分自身の偏見を認識し、その偏見を問い直すことが重要であるとのお話があり、性教育でただ「してはいけない」など、一方的に「保護」するのではなく、本人の「思いを聞き、支える」点が重要で、保護的なリスクマネジメントの視点から、性の健康・性の権利を促進するためのポジティブなアプローチへ転換を行うことが重要であるとのお話が特に印象的で、これから実施していく性教育での方向性が見えてきた気がしました。

今までの研修の内容や考え方を振り返って、もしそれが反省すべきものだったとしたら、これから変えていくことで、ご利用者にとってより良い支援を提供出来るように精進してまいります。



利用相談・見学・体験利用について随時受け付けております。サービス内容は事業所ホームページに記載しておりますので、どうぞご覧下さい。

(電話での相談もお受けします。TEL072-467-1181)

ご連絡お待ちしております。受付：谷口勉

ご協力ありがとうございました。

岩下有美子、エス・ティ・サービス、ヒオキ食品、尾崎記美代（順不同、敬称略）

作業提供ありがとうございました。

松井縫製加工所、(有)丸甚製作所、(有)ハナトミ（順不同、敬称略）